

平成27年度教育事業 「宿泊学習等利用者説明会」

- 1 趣 旨 集団宿泊学習等における児童生徒の活動をより充実させるとともに、活動中の事故防止に万全を期すため、集団宿泊学習等の担当者を対象とした説明会を開催し、体験活動の意義や指導者の役割、活動内容や施設の使用方法について理解を深める。
- 2 期 日 平成27年4月14日(火)・16日(木)
5月8日(金)・14日(木)
9月8日(火)・10日(木)
- 3 対象者 宿泊学習で野外活動及び海浜活動を計画している学校及び団体の引率者
- 4 募集定員 制限無し
- 5 参加者 32人(6回合計)
- 6 指導者 国立大隅青少年自然の家職員
- 7 日程と主な活動



時間	野外活動の主な日程	海浜活動の主な日程
8:45	受付(自然の家本館)	
9:10	開会行事	
9:15	宿泊学習に係る全体説明	
10:00	個別の打合せ・質問等	
11:00	野外活動における準備・安全指導	海浜活動における準備・安全指導
11:30	登山・ハイキングの実際(万滝)	移動・準備・着替え
12:30	昼食	昼食
13:30	登山・ハイキングの実際	海浜活動研修(海浜活動の実際)
14:30		後片付け・着替え
15:00	帰所・解散	解散

8 事業運営について

昨年度までは、各学校が日程を指定し、個別に打合せや相談、登山の事前踏査を受けていたが、本年度は説明会を計6回計画し、そこでまとめて説明や打合せ、野外活動及び海浜活動研修を実施できるようにした。また、合同で参加する学校間の話合いや個別の相談の時間を設けることで、充実した説明会になるように工夫した。

9 事業の実際

(1) 宿泊学習に係る全体説明

全体説明では、参加した担当者が分かりやすいように、映像資料を準備し、説明した。内容は、集団宿泊学習のねらいや体験活動の意義、子供の実態にあったプログラムの立て方、利用にあたっての注意事項や申込方法などである。説明後質問時間を設けたことで、疑問点の理解



や他の人の意見を聞いての気付きなど充実した説明会となった。

(2) 個別の打合せ

全体説明終了後は、個別の打合せを実施した。それぞれの学校の担当者に職員が付き、相談に応じた。学校の規模にあったプログラムの立て方や子供の実態に即した活動など、個別に打合せをすることで、さらに充実した計画となった。また、合同で実施する学校や同日に実施する学校間での話し合いの時間を設定することで、プログラムの調整や係分担の決定など、この場を通して打ち合わせることができた。

(3) 野外活動・海浜活動研修

個別打合せ終了後は、それぞれの活動計画に基づいて、分かれて研修を実施した。ハイキングや登山を計画している学校は野外活動研修、海浜での活動を計画している学校は海浜活動研修を行った。

野外活動研修では、野外活動するにあたっての準備や安全指導の説明をした後、実際に万滝ハイキングを行い、ルートの確認や無線機の使い方など体験した。海浜活動研修では、ライフジャケットの役割や着用方法、安全指導や救助方法など説明を受けた後、カヌーやゴムボートに実際に乗り、漕ぎ方や救助方法など実際に体験した。

それぞれの活動を実際に体験することで、学校での事前指導や安全指導に生かせることができた。

10 成果

学校によっては、打合せと研修及び事前踏査と本館に2～3回来所していたが、この宿泊者等説明会を実施したことで、1回で済み、時間効率が良くなった。

参加者からも「他の学校と意見交換ができ、プログラムを立てるのに参考になった」「全体説明や個別対応などで不安だったことが解消できた。」などといった感想が寄せられた。

